

四方山話 ⑨

友は持つのではなく、友と共にあろう。

「蓬も麻中に生ずれば、扶けずして直し。」

の諺にあるように、中学生の多感な時期、友から受ける影響は大きいものです。「善悪は友を見よ」とも言われますが、つきあっている友を見れば、その人柄もわかりますね。

いい友と出会って欲しいと願います。しかし、あえて友を持たなければいけないというわけではありません。ドイツ精神分析学者フロムは、「人間の遺伝子には、持つ能力 to have とある能力 to be という二つの能力が組み込まれている」と述べています。「持つ」ということは所有することであり、ある意味では支配することです。「友達を持つ」という表現は、友達を自分の都合のよい存在と考える姿勢であり、大変危険なことだと思います。

友情とは、自分本位のものであっては長続きしません。共に喜び合い、助け合い、ただ共にあることで幸せとを感じるものです。